



近畿地方整備局	配布日時	平成29年4月7日 14時00分
資料配布		

件名	深日(ふけ)港洲本港航路に関する 連携協議会の開催について
----	----------------------------------

概要	<p>観光振興、大規模災害発生後の物流・人流のリダンダンシー確保の観点から、大阪府岬町の深日港と兵庫県洲本市の洲本港を結ぶ航路の可能性について、地元自治体をはじめとした関係者間で検討を進めるための「深日港洲本港航路に関する連携協議会」の第2回協議会を下記のとおり開催いたします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>日時 平成29年4月10日 午前10時00分より 場所 神戸市中央区海岸通29 神戸地方合同庁舎 3F 第6共用会議室</p> <p>構成機関 大阪府、岬町、兵庫県、洲本市、近畿運輸局、 神戸運輸監理部、近畿地方整備局</p> <p><u>※公開は冒頭、頭撮りのみとさせていただきます。</u> ※会議資料は当日配付予定ですが、他の構成員準備資料で、 配付制限が付された場合にはご容赦ください。 ※会議の概要は終了後ご説明いたします。</p>
----	---

配布場所	神戸海運記者クラブ、港湾新聞社、日刊海事通信社、 タイム・テイル・ニュース社、海事プレス、港湾空港タイムス、 みなと記者クラブ
------	---

問い合わせ先	国土交通省近畿地方整備局 港湾空港部港湾計画課 課長 三村 正樹 課長補佐 中川 耕三 TEL 078-391-8361 FAX 078-325-8288
--------	---

第2回 深日港洲本港航路に関する連携協議会

日時：平成29年4月10日（月）10時～12時

場所：神戸地方合同庁舎 3階 第6共用会議室

議事次第

1. 開会

2. 議事

- (1) 深日港－洲本港航路 旅客船試験運航の結果
- (2) 深日港－洲本港航路 社会実験運航事業について
- (3) 平成29年度社会実験運航における集客方式について

3. その他

4. 閉会

資料1：深日港－洲本港航路 旅客船試験運航の結果

資料2：深日港－洲本港航路 社会実験運航事業について

資料3：平成29年度社会実験運航における集客方式について

深日港洲本港航路に関する連携協議会

委 員

所 属	役 職
洲本市	副市長
岬町	副町長
大阪府都市整備部港湾局 〃 府民文化部都市魅力創造局	次長 企画・観光課長
兵庫県県土整備部土木局 〃 県土整備部県土企画局 〃 淡路県民局	局長 局長 副局長
国土交通省近畿運輸局	海事振興部長 観光部長
国土交通省神戸運輸監理部	海事振興部長 総務企画部次長
国土交通省近畿地方整備局	港湾空港部長 神戸港湾事務所所長 大阪港湾・空港整備事務所所長

※順不同、敬称略

事務局：近畿地方整備局

深日港洲本港航路に関する連携協議会

(設立趣旨)

現在、観光立国実現に向けた政府一丸・官民一体となった各種の取組みにより、我が国を訪れる外国人旅行者数は年間 2,000 万人を超え、政府は訪日外国人旅行者数 4,000 万人を新たな目標として設定している。

近畿圏においても、ゴールデンルートのみならず、同ルートからつながる大阪府南部、兵庫県淡路島地域及び和歌山県を含む優れた景観・文化を有する地域に、積極的に観光客を誘導し、郷土が誇る多様な魅力に触れて頂くとともに、その経済効果を近畿全域に行き渡らせる取組みが重要である。

その一環として、深日港～洲本港間に就航していた航路を「大阪湾南回りルート」の一翼として活用を進めることは、観光振興のみならず大規模災害発災後の物流・人流のリダンダンシー確保の観点からも重要である。

これらのことを踏まえ、地方創生ならびに国土強靱化の観点から、深日港～洲本港間の航路の可能性について、地元自治体をはじめとした関係者とともに検討を進めるものである。

※リダンダンシー

「冗長性」、「余剰」を意味する英語であり、国土計画上では、自然災害等による障害発生時に、一部の区間の途絶や一部施設の破壊が全体の機能不全につながるように、予め交通ネットワークやライフライン施設を多重化したり、予備の手段が用意されている様な性質を示す。